

開催1年前

いちご一会とちぎ国体

競技を知ろう！

42 年ぶりの開催。「いちご一会とちぎ国体」は、昭和55年の第35回国民体育大会「栃木の葉国体」以来、42年ぶりとなる令和4年に栃木県で開催される第77回国民体育大会です。

リ ハーサル大会が始まります。来年の国体開催前に、今年は、国体のPRと大会の運営能力の向上を図ることを目的に競技別リハーサル大会を開催します。ソフトボールとバドミントンのリハーサル大会には、約1000人の選手・監督が参加するほか、各競技団体の関係者や高校生、ボランティアなどが運営に参加します。なお、今年度の相撲競技リハーサル大会は中止となりました。

競 技を知ろう。リハーサル大会となる各競技は、全国規模の大会などです。来年の国体開催前に、各競技を代表するトップレベルの選手たちによる熱戦が繰り広げられます。今回の特集では、リハーサル大会の競技について取り上げます。各競技の魅力や国体に向けての意気込みなどを、本市や栃木県にゆかりのある選手の皆さまに伺いました。皆さまの応援をよろしく願っています。

競技名	大会名(兼リハーサル大会)	日程	競技会場
相撲(すもう)	第60回全国教職員相撲選手権大会	中止	栃木県立県北体育館
ソフトボール	第73回全日本総合女子ソフトボール選手権大会	9月18日(土)～20日(祝)	美原公園野球場・第2球場 黒羽運動公園多目的運動場
バドミントン	バドミントンS/JリーグII 2021大田原大会	11月19日(金)～21日(日)	栃木県立県北体育館

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止などの場合があります

相撲(すもう)

勝負は一瞬！ 1対1のぶつかりあい！

みた **三田** たいき **大生** さん 近畿大学相撲部(2年)
大田原市出身

私は5歳の時に相撲を始め、現在では近畿大学相撲部で競技を続けています。

相撲の勝負は一瞬で決まりますが、その一瞬の勝負のために長い時間をかけ努力しています。一瞬で勝負が決することは、競技者として怖さもありますが、大きな魅力でもあります。相撲はルールも明確で、勝つには相手を土俵の外に出すか、足の裏以外を土俵につける。誰が見ても勝敗が分かりやすく、初めて観戦する人も楽しめます。

私は、相撲によるまちづくりを掲げている大田原市で高校卒業まで育ち、地域の方々に支えられ、恵まれた環境の中で充実した競技人生を送ってきました。

高校時代、国体には3年連続で出場しました。そのほかに2度の個人日本一を経験し、2019年の世界ジュニアでは優勝することができました。



今年の三重国体にも出場が決まっていますが、成年の部としては初めての参加です。

栃木国体では、育ててくれた地域の方々に感謝の気持ちを伝えるため、最高の結果を出したいです。



令和4年(2022)年開催
いちご一会とちぎ国体
栃木県選手を応援しよう！

ソフトボール

投打の駆け引き！チームプレーに注目！

こぶじ
小藤れいあ
莉愛さん矢板中央高等学校ソフトボール部（3年）
大田原市出身

小学3年生の時にソフトボールを始め、中学校の時に真剣に競技と向き合い、より高いレベルで競技を続けるために、矢板中央高校を選びました。特に去年1年間は、チームメートでもありライバルの後輩に負けたくない気持ちで辛い練習も耐えインターハイに向けて仲間と共に、頑張りました。

栃木県大会、秋・春・夏と完全優勝できたことを自信にして、三重国体に向け、今まで支えてくれた家族、先生方、応援してくださる方々に感謝の気持ちを栃木県のエースとしてプレーで表現したいと思います。

矢板中央高等学校ソフトボール部（3年）
大田原市出身ほりえ
堀江
まや
舞耶さん

小学3年生の時に一生懸命プレーする先輩に憧れ、競技を始めました。高校入学してからは、たくさんの守備位置を経験し、中々結果が出ない時期がありましたが、中学校時代に学んだ最後まであきらめずに頑張ること、高校で出会った仲間と共にどんな困難も一緒に乗り越えることができました。ソフトボールは仲間のミスも、お互いにカバーし合えばミスではなくなり、勝利できる競技です。最後までチームを鼓舞し栃木県の代表として戦います。今まで支えてくれた方々への感謝を感動するプレーで恩返しします。



バドミントン

素早い攻守の切替え！一瞬の駆け引きに目が離せません！

ますき
舂木

さくらさん

作新学院高等学校バドミントン部（3年）
宇都宮市出身

小学2年生の時にバドミントンを始め、大会では思うような成績が残せませんでした。それでも練習を続け、小学6年生の時、初めて全国大会に出場することができました。中学2年生の時には作新学院高校で練習をして一気に上達し、2017 JOC（ジュニアオリンピックカップ）では3位に、2020 全国高校選抜ではベスト8になりました。

バドミントンは、相手との駆け引きが魅力です。試合では、強い相手に向かって、挑戦する気持ちを常に持っています。

今年の三重国体は、高校生（少年女子）で出場する最後の大会。来年の栃木国体では、成年女子で出場します。支えてくれた方々に感謝の気持ちを込めて全力でプレーしたいと思います。

作新学院高等学校バドミントン部（1年）
足利市出身えんどう
遠藤
みはね
美羽さん

両親の勧めもあって、5歳の時にジュニアチームに入りました。小学2年生から全国大会に出場し、ナショナルチームに小学5年～高校1年まで選ばれてきましたが、中学2年生の時だけは選ばれませんでした。

この中学2年時の選ばれなかった悔しさをバネに、2019 全国中学校バドミントン大会では3位になることができました。

今年の三重国体では、少年女子の種別に高校1年生で出場しますが、良い経験になると思います。来年の栃木国体につながるよう日々練習を重ねます。支えてくれた方々に感謝の気持ちを込めて全力でプレーしたいと思います。